





# 目次

一	1
二	4
三	6
四	8
五	10



一

恋は冷めたうちが美味しいんだよ

寂しさを紛らわせ 愛を無視して

そして蝕み

食らいついていく

雨って良い音がするね

全部かき消してしまうから

化けるって楽しいね

言い訳が出来ちゃうから

好きは気次第でまるで服を変えるように

邪魔になれば裂けてしまえば良い

ぐちゃぐちゃの悲鳴と共に

捨ててしまえばいい

煮込んだ者には 腐った匂いしかしないから

だから燃える以上に 愛想笑いが出来る

ナイフの香りが 我にかえらせて

またやったと 笑って理由付けて

何かを考えたら

いつもの日常が変わる

人情って 素晴らしいね

全部だませてしまうから

真面目ってつまらないね

心に嘘をついているから

終わりを告げてよ

たとえばお芝居 茶番だと

まだ乱れてない時に死ねたら良いのに

もっと深く恐怖を覚えていたら

今すぐ消えるはずなのに

落ちたぐらい大した事ない

鏡に化け物が映るぐらい

もう客観的になっていて

流されていく 私の印

それは戻らないと示していた

振り返ったら 無数のサイレンが走っていて

あれは昔の自分だったと後に気付いた

捕まることに恐れはなくて

やっと解放されると

血を流し続けた

二

愛を見つけてしまったよ

花庭の汚れた水際に

二人は抱き合っていたよ

絡めた手に温度を与えないで

会いたい 見つめたい 触れたい

最後まで偽りに踊らせ

ゆらゆら酔い潰れたい

目を覚ましたら元に戻れそうだから

だけど傷痕は残ってしまう

どう誤魔化していこうか？

life in love 愛している

でもこれは secret love

I sad つまらないけど

私は freedom in endless

愛を探していたんだよ

鳥のように走りながら

偽物でもいいよ

初めからわかっていたから

消えたい 悲しい 熱い

禁断の怖さが恋しくて

なのに壊れていく表現理論

何処が悪いのかさえどうでもいい

一番は私だから

pain love 終わりね

こころは全部 need

I happy? 違うの

私の 身も蓋も excellent world

三

ベンチに座った後の温もりが良くて

記憶の隙間を思い出してしまう

何も気付けなかった

君の横顔とかふとした仕草が

もう見れない事に

今風船が飛んだ

地面を蹴り飛ばし

嘆いていても

頭の中で叫んで

叱るとしても

残るものは 空虚の雨だけ

中途半端な心を持つのなら

私は帰りたい

全てを受け入れない自分なんて

いつか他人からも

受け入れないと呟かれるだろう

それでも私は

誰かに抱きしめられたい

ただ

認められたいだけなんだ

## 四

今夜はパーティーにするよ

風船に赤い血を揺らして

ケーキには人の顔が良いかい？

冗談だよ！

ただの作り物さ

後片付けをしていたら

魔法が落ちていてね

絶望も希望を散し続けていた

君の望むままにしてるのに

まだ逃げるのかい？

潰れたケーキに

泥を塗るのかい？

なら挨拶をしろよ

私は幸せだよ って。



## 五

私は笑顔が可愛いアイドル

何もかも明るくさせてあげる

悩みなんて吹き飛ばそう

素敵な人生と想わせるよ

はい、だから歓声をお願いします

二人で一つの歌声

魅力的でしょ ウットりするわ

完璧な踊りにキラキラな衣装

これ以上の演出は絶対に無い

でもある日死んでしまったそれはつまらない出来事でした最後に自暴自棄となった美しいアイドルは天使になれず地獄へと堕ちたのです。ああなんて可哀想にその子は永遠と闇を彷徨い死んだことすら認めないだろう。

それでも私は歌い続ける！

遠くまで観客に愛され

魂を引いて歌っていく

きっと恨まれているだろう成功してしまったから

でも仕方がないでしょ

テレビが終わらない限りの期限アイドルなんだから

そんなに嫌いなら

私を殺してしまえばいい

そんなの気にしないから

だからはやく終わらせてよ

私は嘘つきなアイドル

みんなを騙して儲ける生き様

ほら捨てなさいよ

意思を与えなさい

さあ、カーニバルの始まりです

画面の先で歌うのは一体誰だろう

肌が剥がれてしまえば

ただの人間になってしまう

恐ろしいんだ

普通になるのが

怖いんだ

素顔を知られるのが

だって貴方達が愛しているのは

テレビに映る

アイドルだけだから

それでも私は歌い続ける

全てを肯定するように

悪口なら吐いてよ

平気なふりして笑ってあげる

そして天才となり

唯一無二の存在となる



---

さくし

---

著 千里

制 作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---